

# Les Ressources du mois

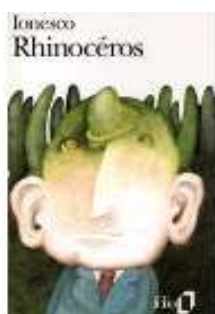
## - Février 2012 -



### Le livre du mois

« **Rhinocéros** » Ionesco (1959)

『犀』 著：イヨネスコ



ウジェーヌ・イヨネスコの『犀』は、不条理劇の代表的な作品で、人間が犀になるという恐ろしい伝染病によって、町の人たちが犀になっていくという話し。

第二次世界大戦に向かって台頭していく全体主義を、服従と抵抗をテーマに描いた作品といわれている。

一度と言わず、何度でも読んでほしい！

### A écouter à tout prix !



« **Best of BB** » Brigitte Brudot (1963-1973)

歌手：ブリジット・バルドー

50年代を代表するセクシー映画女優ブリジット・バルドーは、60年代には、音楽にも活躍の場を広げる。当時の多くのミュージシャンがそうであったように、彼女の歌うシャンソンは、ジャジーでポップな感覚がいっぱい。

ベストというだけあって、有名な『Bonnie and Clyde』『Harley Davidson』『le Contact』等、セルジュ・ゲーンズブルとのコラボによる傑作も数多く収録されている。フランスの60年代に浸れること間違いなし！

## Le film coup de cœur



« **Les petits mouchoirs** » Comédie réalisée Guillaume Canet (2010)

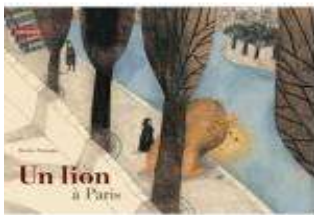
監督：ギヨーム・カネ 154分

出演：フランソワ・クルーゼ、マリオン・コティアール、ブノワ・マジメル

アラサーの友達グループの1人が、事故で重傷を負って入院してしまう。残りのメンバーは、それでも、毎年行く海辺でバカンスを過ごすことにするのだが、いつものようにバカンスを楽しもうと思っても、なにかがしっくりこない。そして、自分たちの友情や信じていたこと、罪悪感や愛といったものが揺らいで行く。

ここまで書くと、シリアスで真面目なだけの映画という印象を受けるが、フランスらしさがたっぷり堪能できるコメディ。フランソワ・クルーゼ、ブノワ・マジメル等豪華キャストも魅力！

## En français facile



« **Un lion à Paris** », Béatrice Alemagna (2006)

著：ベアトリス・アレマーニャ

2006年 モントルイユ・バオバブ賞入選

一頭のライオンが、サバンナで退屈していた。そんなある日、ライオンはパリ行き汽車に乗る。でも、パリに来たのは良いが、パリの人たちは忙しすぎて、ライオンに気づいてもくれない。ポンピドゥー・センターのエスカレーター・カプセル、モンマルトルの丘、セーヌ川、エッフェル塔…、そしてダンフェール=ロシュロー広場へとたどり着く…。

パリの街を、詩情豊かに描いたオリジナリティーにあふれた絵本！ライオンと一緒にパリを散歩してみては？